

＜インタビュー取材＞

スタジアムへの入場を今か今かと心待ちにしている方々に、突撃インタビューを行いました。



▲福山市から家族4人で来られていました。好きなサンフレ選手は、佐藤寿人選手で、今シーズン初めての観戦で楽しみにしていたそうです。

挑戦

（オリンピックク・サッカー男子）

日本代表 浅野選手・塩谷選手

FW 浅野拓磨選手と、オーバーエイジとしてDF 塩谷司選手が、リオで開催されるオリンピックに出場されます。

市民の皆さまの熱いエールをお願いします

7月7日（木）、二名そろって市長を表敬され、意気込みを力強く語られました。

市長・副市長からは、激励と花束が贈られました。初戦は8月4日（木）のナイジェリア戦です。



サンフレッチェ広島
安芸高田市スポンサードゲーム



市民大応援団がエディオンスタジアムに結集

Ale! Ale! Hiroshima !!

7月2日（土）、安芸高田市から1,750名を超える市民大応援団が、サンフレッチェ広島のホームゲームにかけつけ、熱い声援をおくりました。

今年で9回目となる、マザータウン安芸高田市がスポンサーのゲームでは、無料送迎バスの運行や市の特産品等の販売、そして毛利軍団による武者応援など、ゲーム開始前から終了まで熱烈的な応援を展開しました。



結果は・・・
今年もサンフレ快勝

攻守でバランスの取れたサンフレッチェ広島が、前半19分と32分にMF柴崎誠選手のゴール、後半20分にはFWピター ウタカ選手のゴールで、見事3-0の勝利をおさめました。J1リーグ2ndステージ開幕戦のこの勝利は、優勝にむけ勢いをつける貴重な1勝となりました。

8勝1敗、4連勝中!

「14、502人ものサポーターが試合中も雨が降る中、足を運んで我々に声援を送ってくれた。サポーターに励ましてもらい、スタジアム



知る人ぞ知る、サンフレ・ファンの間では、「安芸高田市スポンサードゲーム」の方程式が定着しているそうです。

の雰囲気を作ってくれた。我々もベストを尽くして戦い、勝利することができてよかった」と、森保一監督の試合後のコメントもありました。

お米

紫陽花を愛でるころ、まだ朝晩少し冷えるなど感じる日々に、体へのほどよい刺激が、心地良い時期だなと感じています。ただ、みなさんがこのコラムを目にするころは、紫陽花も終わり、ブルーの空に、真っ白い雲、青々と茂った田んぼのコントラストが広がっている頃だろうと思います。

ふと、前回のコラムを読み返してみると、私がこの地で描いている暮らしと活動が少しずつ形になりつつあるなど感じています。去年から、お米を活用した活動の一環として、お米を使った砂糖添加なしの甘い飲み物「ライスミルク」の試作と、それを用いた様々な展開に取り組んでいます。今年は、民間事業者の協力の下、紫黒米フレーバーや玄米フレーバーのライスミルクを試験的に作って頂き、そして、それを用いた乳製品・砂糖なしのプリンを試作して頂きました。ま

地域おこし協力隊員リレーコラム vol.12
宮崎 絵美さん（産業振興部 地域営農課）



まずは、地域のイベントで試飲・試食会を実施し、対面式での意見や評価を通して、商品化への手ごたえを感じるときもありました。お米を主食以外にも、飲み物、デザート、調味料のひとつとして様々な形でみなさんの口に入るような展開も考えており、「安芸高田市お米」とイメージ化出来る一役になればと思います。

プライベートでも、今年はお米がキーワードになっています。地域で出逢った友人らと初の米作りに取り組んでいます。自然農法で栽培された16代目の種籾が手に入り、種から育て、1日ばかりで手植えを終えました。怖いもの知らずの無農薬・無肥料栽培で挑戦します！さて、収穫できるかは、これからの除草作業に係っていると聞いています。みんなが食べられるよう、苦労やリスクをシェアしながらわいわいと楽しく取り組んでいきます。